

ふくおかのふくし

社会福祉協議会

福岡県共同募金会

福岡県社会福祉大会

11月号

2010.124号

平成 22 年福岡県社会福祉大会
(平成 22 年 10 月 22 日)

●平成 22 年福岡県社会福祉大会 知事講話

70 歳現役社会を目指して～福岡県の**共助社会**づくり～

●平成 22 年福岡県社会福祉大会 記念講演

今、社会福祉関係者に求められる**役割**

●平成 22 年福岡県社会福祉大会

大会宣言・実践申し合わせ事項の**採択**

●第 10 回福岡県ねんりんスポーツ・文化祭

まもなく開催！**ねんりんスポーツ・文化祭**

●イオン伊都店「福祉施設のまごころ良品市」

地域がバックアップ 障害者がつくった**まごころ製品**

平成22年福岡県社会福祉大会 知事講話

70歳現役社会を目指して、福岡県の共助社会づくり

麻生渡 福岡県知事（全国知事会会長）

福岡県社会福祉協議会、福岡県共同募金会が、10月22日に春日市のクローバープラザで開催した「平成22年福岡県社会福祉大会」では、1,200人を超える社会福祉関係者の参加を得ました。

本大会では、全国知事会会長である麻生渡福岡県知事から、70歳現役社会を目指した福岡県の共助社会づくりについて講話をいただきました。

今、私どもの社会では高齢者の定義は65歳です。この65歳という高齢者の定義が決まったのは昭和31年のことです。昭和20年に戦争が終わりちょうど10年たって、日本も復興軌道に乗っていた時期ですが、そのときの日本の平均寿命がちょうど65歳でした。現在は、申し上げるまでもなく平均すると83歳です。この50数年の間に私どもの社会は大変な勢いで寿命が延びてきました。

これは私どもが戦後やってまいりました長い努力の大きな結果であり、大きな成果です。申し上げるまでもないことです。戦争が終わったときには日本中が焼け野原でした。私どもは小さかったんですけれども、確かに腹が減っていて、食料難でした。そういう中で一生懸命経済を立て直し、農業を復興して食べ物をつくり、また、医療を改良しました。公衆衛生にも随分力を入れてきました。その結果、まさに私どもは、今のように平均寿命が83歳と世界に冠たる長寿社会をつくったわけです。

健康で元氣な福岡県づくり

そこで今、私どもが取り組んでいすのは、皆さんが毎日健康で明るく暮らすという事です。これを一番分かります。やっていますのが、福岡県ねんりんスポーツ・文化祭です。今年も11月に本大会を行います。この大会はいろいろな予選がありますから、予選段階から全部入れますと20万人以上の方が参加されています。ぜひ、このような大会を通じて、皆さんが、家から外に出て、スポーツをする、健康づくりをする、そしてまた、生きがいをつくって、こう、友達をつくって、いただきたいということです。

今年のねんりんピックは石川県で行われました。福岡県からも175名の選手団を送り出しました。毎年県庁の前で結団式をするんですが、ほんとうにみなさんお元気です。一番高齢の方はたしか93歳でした。ぜひこういうス



ねんりんファッションショー（平成21年11月北九州市）

ポーツ・文化を通じて子どもたちに教えていただく機会を設けていただきたいと思います。

そして、福岡県のねんりんスポーツ・文化祭には、いろいろな特色があるのですが、年をとってもファッションに気をつけて、格好よくやっていくこととねんりんファッションショーをやっています。そこにもポスターを張ってありますが、新しいファッションができています。

当然私どもには、医療の問題、年金の問題、あるいは介護の問題があり、

実際に高齢化社会を支えていくために不可欠な制度を整えていかなければいけません。介護につきましては介護に実際に当たる方々の待遇が悪くて、人材が集まらないということから、処遇の改善に積極的に取り組んでおります。

今一番大きな問題になっていますのは医療の問題です。かつて私どもは75歳以上の後期高齢者医療制度をつくりました。統計をとると、75歳以降になると、お医者さんにかかることが非常に増えて、医療費が急増しています。それまでは国民健康保険が中心で、特に75歳以上の皆さんが加入していましたが、このままいくと国民健康保険がうまくいかななくなるということで、75歳以上を対象とした、特別の保険制度をつくりました。

ところが、これが75歳で区別するのはけしからんとかいろいろな意見があり、大変評判が悪かったんです。これについては改善措置をとりましたが、政権交代が行われ、民主党政権はこれ

をやめるといふ政権公約を掲げました。今、75歳で年齢区分をしなくて、別のやり方で保険制度を整える検討をやっている最中です。しかし、なかなかうまい案ができてきません。

そういう状況ですが、一番本質的な問題は、どうやって皆さんが健康で長生きするかです。病気になってばかりでは医療費が皆さんで大変です。若い人の収入を取り上げなくては医療がもたない状況になります。このような医療制度改革の問題がいろいろな形で行われておりますが、皆さんが少しでも元気で、健康年齢を延ばしていかなければ、制度改革をやっても、負担の問題がうまくいかないのが現実です。

70歳現役社会を目指して

それから、もう一つ、今、福岡県は70歳現役特区ができないかと考えてい

ます。実は統計をとっても、また、皆さんを見ても非常に元気です。知力、体力とも元気だからこそ寿命が延びて83歳になっています。やはり元気な人は70歳まで働けるような社会をつくらうということです。

また、そうしなければ、日本の生産年齢——実際に働くことが出来る人の年齢、日本の場合には15歳から64歳。——の人口がどんどん減っていますので、逆に65歳以上の人口が増えることになって、社会が頭でっかちになってしまいます。この生産年齢というところに何でもかぶせていったのでは社会の仕組みが成り立たない、そうすれば、一番考えなければいけないのは、働く年齢を延ばすということで、この特区構想を今検討している最中です。

これについては非常に多くの課題があります。一番初めに出てきた議論は、65歳になって働いたら収入が増える。



麻生渡福岡県知事



収入が増えたと、全部じゃないが、年金を減らされます。これは、要するに働くなどと言っているようなもので、みんなに一生懸命仕事をしろと言っても無理じゃないかということから始まって、制度の整備ということを含め、専門の先生方にもお諮りして研究している最中です。

今、もう一つ私どもが一生懸命研究しているのは、先日新聞で大分報じられ始めましたが、**高齢者にやさしい自動車**をつくることです。これは去年も話しましたが、それ以後随分研究が進んできました。高齢者にやさしい自動車、つまり高齢者が少々運転が下手でも、安全に運転できる、運行できる車をつくらうということです。高齢社会になって、高齢者の自動車事故は増えていきます。ですから、高齢者の運転免許の返納運動が起きました。しかし、東京のような都会では地下鉄が発

達していますし、バスも走っていますから、車に乗らずに生活していけるかもしれません。が、我々のようなところは、特に最近では公共交通機関、バスが採算が合わなくて廃線になっています。そういう中で、高齢者の皆さんが実際に病院に行ったり、買物に行ったり、あるいはいろいろな行事に出ようとすると、車がなければ生活していけないのです。車に乗らないようにしようという運動は、私どもの社会にとりましては非常に不活発な高齢社会になってしまおうということです。

実は、福岡県が呼びかけましたところ、35の都道府県が同意して、このプロジェクトは35都道府県の共同プロジェクトになりました。アンケート調査をして研究しましたが、実際に高齢者の皆さんの車の乗り方はどうなっているかといいますと、大体1台に1人か2人しか乗っていない。しかも、1日に乗る距離が大体10キロ、長くても20キロぐらいで、走り回ることにはやっていない。それから、もう一つは、高速道路に乗ることはほとんどないということが分かりました。ということは、今みたいな4人乗りの大きな車で、1回ガソリンを入れると何百キロも走れるような装備をする必要はないということです。

もう一つ、どんな事故が起こっているかを調べました。大きな事故の原因は、アクセルとブレーキのペダルの踏み間違えです。それから、自分は元気

なつもりでも視野が狭くなっています。意外に赤信号になってきているのに、ぼんやりしている。バックして運転するのにも体がかたくなっているなかなか難しい。というような幾つかの共通の課題も見つかりました。

これにつきましては、今いろいろな安全の技術、センサーといいますが、人間が動いたらすぐ反応する仕組みもありますから、それらを整備して、少々運転が下手でも、ブレーキをかけるべきときにアクセルを踏んでも、自動車がつくとまるといった装備を持った車をつくろうということで研究が進んでいます。

今、そんな車のデザインを全国から募集しましたら、実に500件近く出てきました。その中から20点ぐらい選びまして皆さんに公表したいと思います。これはなかなかおもしろい車になりそうです。

このような課題は日本だけのものではないんです。いずれ韓国もそうなります。中国は一人っ子政策をしています。人口は高齢者の比率が非常に大きくなっています。

今、高齢社会用の自動車をつくっていますが、これは日本だけの問題ではなく、今からアジアの国々さえぶつかっていく問題だと、それを先駆的に解決しようとしているわけです。私どもは、まさに世界の一番大きな問題の最先端を行っている、その解決に真正面から取り組んでいることも大いに自覚



し、むしろ自負心を持って、今から活気のある高齢社会をつくらなければいけないと思っています。次第です。

最後に、これを皆さんご存じですか。これは「自立」という芋焼酎です。この芋焼酎は福岡県の障害者の6つの施設の皆さんが芋を植えて収穫し、醸造元を持っていて、その芋でつくってもらった焼酎です。名前も「自立」とつけました。ラベルはバラの花や花柄に見えますけれども、子供たちが肩を組んでにこにこ笑っている非常にいい図柄です。これを今1,260円で売り出しています。

なぜこんな焼酎をつくったかといいますと、今の障害者の皆さんは、自立するためにパンやアクセサリーをつくって売り、少しでも収入を上げようという努力をしています。しかし実際は簡単に売れません。

障害者施設の皆さんは、土地をある程度持っていますから、その土地に芋を植えて、それで焼酎をつくってみようじゃないかということをやってみた

ところ、農作業は障害者の皆さんに非常に合う作業なんです。普通はほかの人と作業を合わせなくてはいけないわけですが、農業というのは、まさに、自分のペースでやれるということで非常に合っているんです。

実は、この芋をつくりまして、昨年1,800本売りました。そうしたら、2カ月足らずであつという間に売れました。それで、今年は一挙に8,000本つくって、売り出して大体6カ月で、もうほとんど売り切れの状態になりました。

採算の話をしめすと、1,260円で売っていますが、実際にはコストがかかりますので、1本売れば560円もうかることになりました。これは、6つの施設の皆さんの所得を少しでも上げるという点では非常に大きな効果を持つているということです。

私は非常にありがたいと思い、感激しておりますのは、この焼酎の話をして、ほんとに県民の皆さんが一生懸命買ってくれるんです。何とか障害者の皆さんを助きたい、自分が何かできることはやりたいという気持ちが根底にあって、焼酎を飲んで応援できるんだったらということ、あつという間に売れるという状況になっているんです。

そこには皆さんの非常に温かい気持ちがあるんです。障害者の皆さんを助けないかん、何とか応援しようという県民の皆さんの気持ちがこの「自立」

の売れ行きにあらわれていると思います。

これまでは障害者の皆さんに対しては自立支援法という考え方でした。これもいろいろ問題がございました。そして、今は障害者の皆さんに対する総合福祉という新しい考え方を組み立てようとしています。確かに福祉の考え方、理念を変えること自体一つの大きな意義があります。それは理念から出して政策が組み立てられますから。しかし、理念とともに非常に大事なものは、現実に障害者の皆さんの生活が、地域で成り立つような具体的な支援や枠組みをどうつくるかという実際の取り組みが非常に大事です。我々は、現実に地元においてどういう生活がつくれるようになるか、その支援策こそ具体化しなければならぬと考え、一生懸命地方としての意見を出している最中です。

いずれにしても、この「自立」は県民の皆さんの気持ちが率直にあらわれたものです。来年は1万本を超えたいと思っておるような次第です。(笑)

福岡県が目標にしていますのは共助社会です。我々はお互いに助け合っていかなければうまくいかない社会をつくろうという目標です。それに向かって努力をしています。どうかご参集の皆さんはそれぞれの分野におけるいわば世話役でありリーダーですが、ぜひ共助の精神で、よろしくお願いを申し上げます。

平成22年福岡県社会福祉大会 記念講演

今、社会福祉関係者に求められる役割

大阪府立大学 人間社会学部 教授 関川 芳孝氏

社会福祉法人あるいは社協を取り巻く環境は民主党政権に変わって大きく変化しています。ただ、私は福祉の形は時代の変化により少しずつ変わっても、変わらないものとして社会福祉法人の役割があると思います。介護や保育のような福祉活動をする中で、地域の人や社会との関係、助け合いの価値観といったものを創造したり変革するという役割が、社協や施設などを営営する社会福祉法人の方々にはあると思います。

成が大きな政策課題になっているなか、社協あるいはそれ以外の社会福祉法人の存在意義が見えにくくなっています。

地域の中で社会福祉法人の存在価値を高めるために

地域の中で社会福祉法人の方々にやっていただきたいことのひとつにニーズの把握があります。別にアンケートや市場調査をしなくても、事業を通じて、さまざまな地域のニーズ、福祉のニーズ、地域の人たちの暮らし方や困っている部分が見えてくるはずですよ。いろいろなニーズを日々キャッチし、新しい福祉の事業の種（シーズ）を温めて、地域を巻き込んで、地域の中で新しい取り組みをつくっていただきたいです。

企業が福祉の分野で事業を展開し、「新しい公共」としてNPOの活動が目され、福祉分野で新しい担い手の育



大阪府立大学 人間社会学部
関川芳孝教授

社会福祉関係者の方々、特に社会福祉法人の方々にお願したいことは、福祉をつくるという部分です。制度化されていないニーズの事業化にチャレンジし、新たな福祉をつくる先駆的な実践を一つ一つ積み上げていただきたいです。事業規模が大きくなっても、既存の経営資源の許す範囲で、人・物・金あるいはネットワークの範囲内で何



ができるかを考え、地域社会の方々と一緒に行動し、それによって新しい福祉の形をつくっていく。これが実は民主党の首相の施政方針演説の中でも語られた「地域のきずなの再生」ということなのではないかと思っています。

自分の暮らしや家族の生活以外の問題をご自身の問題と考える傾向が強い方々も公共心は持っておられます。その公共心を共有する仕組みとして、公共性の高い社会福祉法人の実践モデルがあり、社会福祉法人の存在価値を地域の中で証明し、地域の人を巻き込んだ活動に展開していく。そして、地

域の福祉課題を地域の人が自らの問題としてとらえるような仕掛け、場面をつくっていくことをお手伝いすることが地域の福祉力を高めることだと思います。

社協の皆さん、あるいは民生委員の方や自治会の方々、社会福祉法人の方々も一緒に、公共心を持って公に共感する人材を募り、育てていくことが、社会福祉法人あるいは社会福祉関係者の重要な役割ではないかと思っています。

さらに、社協あるいは社会福祉法人の方々が、地域の福祉活動、NPOやボランティアの方々のメンター（よき理解者、相談相手、協力者）になっていただきたい。社協や社会福祉法人の方々には、地域の福祉課題に関心のある方々、よりよい地域社会づくりや地域貢献、活動の場を求めている方々の役割を整理し、実践可能な活動を支える仕組みを組み立てたり、その運営をサポートしていただきたい。そのため、利益の一部を還元する、あるいは、地域の課題に対してだが、いつ、どんな形でかわっていかば、今の暮らしの中で少しの時間を地域の方々に割いていただいて、地域を少しでもよくしていけるのかといったことを考える場をプロデュースしていただきたいと思っています。

【問合せ先】

総務部 広報室
TEL092(584) 3377

大会宣言・実践申し合わせ事項の採択

本大会では、我が国の社会保障分野における制度改正や見直しが進められていることに伴い、国民の生活基盤のあり様の変化に基づき「大会宣言」・「実践申し合わせ事項」を採択しました。

大会宣言

厳しい社会・経済情勢が続く中、従来の社会保障・社会福祉制度だけでは複雑・多様化する地域住民の生活課題に対応することが困難となっており、地域における新たな支え合いの仕組みづくりが求められています。

こうした中、国では、規制改革、地域主権改革、新しい公共など、社会福祉法人の役割やあり方を含めさまざまな検討が進められています。

このようなときこそ、私たち社会福祉関係者は活動の原点に立ち返り、地域住民のニーズに基づく柔軟かつ効果的な取り組みを展開し、その存在意義を高めていくことが肝要です。

本大会は、社会福祉を取り巻く現状を踏まえ、改めて社会福祉関係者に求められる基本的な視点やそれぞれが果たすべき役割を確認するとともに、連帯して地域の課題解決に積極的に取り組んでいく契機とします。

私たち社会福祉関係者は、国及び県・市町村と一層連携を深め、それぞれの立場で専門性を発揮し、健やかで心豊かに暮らせる福岡県づくりに努めることをここに誓い、宣言します。

実践申し合わせ事項

1 官民一体となった地域福祉活動の推進

誰もが安心してその人らしく暮らせるよう、住民相互で支援活動が行える地域住民のつながりを再構築するため、官民一体となった新しい地域福祉活動の推進に努めよう。

2 豊かな高齢社会の実現と高齢者の生きがい・健康・仲間づくりの推進

長寿を心から祝い喜び合える豊かな高齢社会の実現に向けた社会保障制度確立への取り組みを推進するとともに、健康づくりや介護予防、仲間づくりを目的としたふれあい・いきいきサロン活動の推進や人材育成、健康体操の推進に努めよう。

また、第10回福岡県ねんりんスポーツ・文化祭の成功に向けた取り組みの強化に努めよう。

3 介護サービスの充実

介護を必要としている県民がいつでも安心して介護サービスを利用できる制度の一層の充実と保険財政の強化を進め、介護保険事業の効果的な運営に努めよう。併せて、介護職員の処遇改善に向けた取り組みを進めるとともに、サービス提供者の資質向上に努めよう。

4 障害者福祉制度の充実に向けた取り組みの強化

障害者が安心して生活できる社会づくりのため、障害者福祉制度の見直しに積極的に参画するとともに、利用者本位のサービス提供に努めよう。

5 子育て支援や児童虐待への対応の充実

地域住民が主体的に取り組む子育てサロン活動の普及・啓発や人材養成、子育てと仕事の両立支援のための保育

制度の充実など、子どもを安心して生み育てられる環境の整備に努めよう。

また、児童虐待の防止と早期発見・早期対応を可能とする関係者の連携強化とその取り組みに努めよう。

6 福祉サービスの充実と利用者支援に向けた取り組みの強化

福祉サービスの質の向上を図るため、福祉人材の確保・養成、介護サービス情報公表事業や第三者評価事業の充実に努めるとともに、適切な福祉サービスの利用を支援するため、日常生活自立支援事業や福祉サービス苦情解決事業の促進に努めよう。

7 緊急雇用対策の推進

景気低迷が続く中、県民の生活基盤である雇用の確保は大きな課題であり、県内社会福祉関係者は、福岡県が取り組んでいる雇用対策の一翼を担い、その推進に努めよう。

8 大規模災害への対応の充実

昨年の福岡県7月豪雨災害や福岡県西方沖地震等における災害復旧活動の経験を活かし、地域福祉活動としての災害対策の充実を努めよう。

併せて、施設利用者が安心・安全に生活を営めるよう、社会福祉法人・施設における防災意識の向上や災害対策の強化に努めよう。

9 共同募金運動の取り組み強化

地域福祉活動をはじめとする民間社会福祉の一層の充実のため、県民総参加の共同募金運動推進の強化に努めよう。

特別アピールの採択

本大会では、従来の「大会宣言」「実践申し合わせ事項」に加え、次の「特別アピール」が提案・採択され、国民の期待に応える社会保障制度・社会福祉制度の実現に向けて取り組みを進めることが確認されました。

また、採択された特別アピールは、厚生労働大臣、福岡県知事、市町村長に本会から要望します。

特別アピール

相次ぐ高齢者の所在不明問題や孤立死の増加、後を絶たない児童虐待など、家族間や住民同士の関係の希薄化を一因とするさまざまな社会問題が発生している。

これらの状況に対応するためには、それぞれの地域における生活課題を的確に捉え、官民一体となった見守り体制や住民同士の支え合いの仕組みを再構築することが必要である。

また、経済不況が長期化する中、セーフティネットとしての生活福祉資金貸付や生活支援の適正な取り組みもますます重要となっている。

一方で、サービスの質を確保するための福祉・介護職の人材不足は依然として深刻な問題であり、生命と人権を守るにふさわしい労働環境の確保とともに専門性を高める取り組みが喫緊の課題となっている。

また、真に障害者の生活と自立を支援するための施策の抜本的な見直しを早急に進める必要がある。

さらに、少子化が急速に進行する中、地域で安心して子育てできる環境づくりに向け、保育所待機児童の解消をはじめとする子育て支援施策の拡充を図る必要がある。

このような課題の解決に取り組み、国民が求める社会保障・社会福祉制度を確立し、将来にわたり運営していくためには、安定的な財源の確保が不可欠であり、早急にその仕組みづくりを行うべきである。

国及び地方自治体は、高齢者が尊厳と生きがいをもって暮らしていける社会、障害者が働くことや社会参加の喜びを実感できる社会、子どもたちが将来に希望をもてる社会、すべての人が安心して安全に暮らせる社会をめざして確実に努力されることを、県内社会福祉関係者の総意をもって強く要望する。

福岡トヨペット株式会社が県内施設に車椅子を寄贈 地域への感謝の気持ちを込めて

福岡トヨペット株式会社では、昭和31年トヨペット店として創業以来、

平成19年11月30日に新車累計販売60万台を達成したことを記念し、社会貢献の一環として県内の社会福祉施設に車椅子を寄贈され、今年度も30台の車椅子を寄贈されました。（平成19年度からの寄贈台数151台）

これらの寄贈にあたり、福岡県社協では、10月22日に開催した社会福祉大会で福岡トヨペット株式会社の社会貢献を称え、贈呈式を行いました。

地域に役立てる活動を 目指して

贈呈式では、福岡トヨペットの平野寛三常務取締役から、平山良明福岡県社協会長に目録が贈呈され、本会から福岡トヨペット株式会社様に感謝状を贈りました。

福岡トヨペット株式会社からの車椅子は、老人福祉施設（20施設）、身体障害者施設（3施設）、知的障害者施設（7施設）の30施設に寄贈されます。

福岡トヨペットでは、車いすの寄贈以外にも、社員の方々が介助専門士の資格取得に努められ、また、自動車販売会社では福岡県で初めて、災害時の徒歩帰宅者支援ステーションとして登録される等、さまざまな社会貢献活動に取り組まれています。福岡トヨペットの皆様本当にありがとうございます。

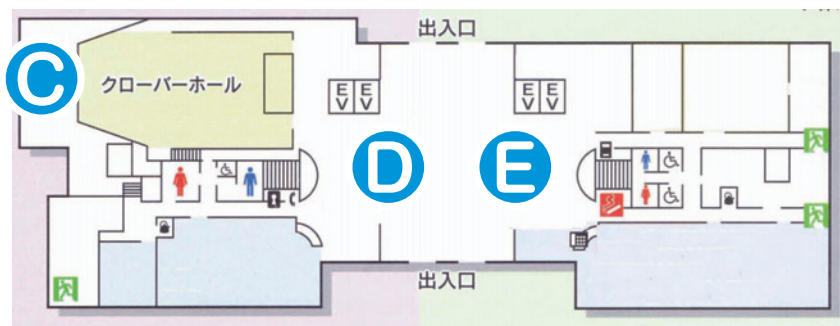


福岡トヨペットの平野寛三常務取締役から、平山県社協会長に目録が贈呈され、本会から福岡トヨペット株式会社様に感謝状を贈りました。

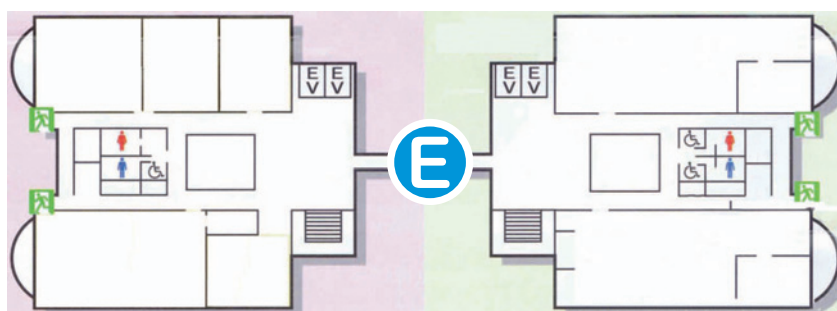
【問合せ先】総務部 総務課
TEL092(584)3377

スポーツ・文化祭

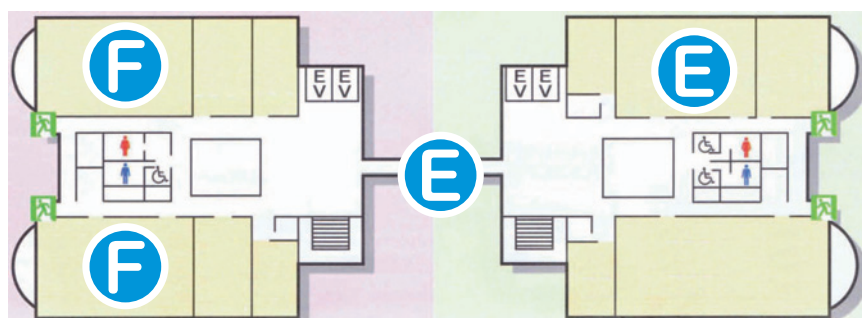
センター棟 1 階



センター棟 4 階



センター棟 5 階



C

センター棟 クローバーホール
 11月13日(土) 15:15～16:15
 ・ねんりんファッションショー
 テーマ 「ステキに生きる～オシャレは心の潤い～」
 11月14日(日) 10:00～16:00
 ・民謡コンクール

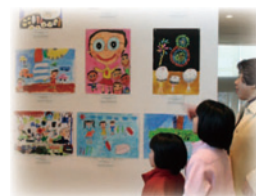


D

11月13日(土)・14日(日) 10:00～17:00 (14日は16時まで)
 ・地域文化伝承コーナー (和紙作り体験) ・スポーツ・文化交流大会紹介コーナー
 ・絵手紙体験コーナー ・俳句・短歌交流大会作品展示会場

E

11月13日(土)・14日(日) 10:00～17:00 (14日は16時まで)
 「おじいちゃん・おばあちゃんの絵」コンクール作品展示会場



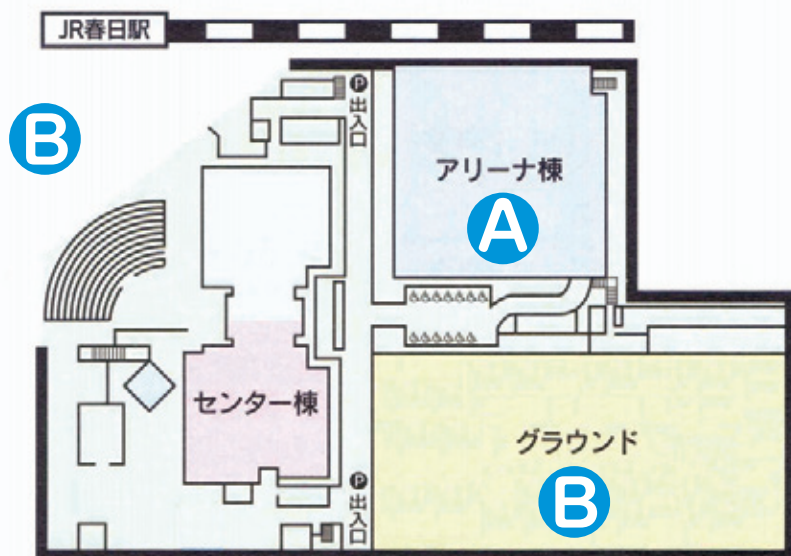
F

11月13日(土)・14日(日) 10:00～17:00 (14日は16時まで)
 シニア美術展作品展示会場

まもなく開催！ねんりん

第10回福岡県ねんりんスポーツ・文化祭を、11月13日（土）・14日（日）の2日間にわたり、春日市のクローバープラザを主会場に福岡地域で開催します。当日は、お年寄りから小さなお子様まで楽しめるイベントが満載です。

お友達、ご家族をお誘い合わせのうえ、是非遊びに来てください。多くの皆様のご来場を心からお待ちしております。



A

アリーナ棟 大ホール

11月13日（土） 12:30～15:00

- ・オープニングアトラクション
「白梅学園吹奏楽団」
- ・総合開会式
- ・記念講演

11月14日（日） 10:00～16:00

- ・スポーツレクリエーション体験コーナー



B

11月13日（土）・14日（日） 10:00～17:00（14日は16時まで）

ふれあい市場

穫れたて野菜や海の幸の販売コーナーなど、秋の味覚が大集合！！

- ・JR 春日駅前：かき汁・かきの販売、足湯コーナー、県産米試食会等
- ・グラウンド：新鮮卵・旬の野菜販売ブース等

ふくすくキッズパーク（クローバープラザグラウンド）

親子リトミックやお菓子作り体験など楽しいイベント盛りだくさん。

健康福祉コーナー

体脂肪、血圧、骨密度の測定など、あなたの健康をチェック。

スポーツレクリエーション体験コーナー（13日のみ）

スポーツの秋を満喫しませんか？子どもから高齢者まで楽しめます。

地域文化伝承コーナー

竹トンボ、竹馬、お手玉など昔ながらの遊びを楽しもう！



イオン伊都店 「福祉施設のまごころ良品市」

地域がバックアップ

障害者がつくったまごころ製品

少子高齢化や核家族化が進むなか、地域に根付いていた近所づきあいや支え合いの人間関係が見直されています。福岡県社協では、高齢者や障害者、子育て中の親等が住み慣れた地域で安心して生活を営むために、時代や地域性にあったネットワークを形成し、様々な生活課題に取り組んでいる事例を紹介し、誰もが安心して生活できる地域づくりを推進します。



毎月第一火曜日は福祉施設のまごころ良品市。会場には、元気な売り声とお客さんの笑顔があふれます。

16施設が協力 福祉施設のまごころ良品市

福岡市西区にあるイオン伊都店では、毎月第一火曜日に「福祉施設のまごころ良品市」を開催しています。

この市は、昨年、福岡県社協が福岡県から委託を受け実施した「障害者がつくるまごころ製品販路開拓事業」で、販路開拓員が地域を回る中で、イオン伊都店から、障害者のまごころ製品の月の市開催を提案いただいたことがきっかけです。

福岡市、糸島市の周辺施設に声掛けをしたところ13施設が集まり、月の市開催に向け、定期的に連絡会を開きました。現在は16施設が協力し、まごころ良品市に出店されています。



福祉施設のまごころ良品市が開催されているイオン伊都店

連絡会で16施設の代表を務める藤田勝利施設長は「16の施設が協力して出店することは初めてのことであったので、最初はとまどいもありました。出品品目の決定や販売員の人数の確認、店舗への搬入手順やレイアウトの決定等一つ一つ綿密に調整してきました。イオン伊都店さんの全面協力を受けて、一般の方へ私達の製品を知っていただく素晴らしい機会をいただいたので、一人でも多くの方に製品を手にとっていただけるよう販売を広げていきます。」と今後の意気込みを語ってくださいました。

福祉施設のまごころ良品市は、12

●福祉施設のまごころ良品市●

場所 **イオン伊都店（福岡市西区）**

とき **毎月第一火曜日 10:00～15:00**

福岡市、糸島市の16施設が出店。季節に合わせたお菓子やお米、有機野菜、お水、陶芸品や工芸品など自信の品物が盛りだくさん！
ご試食も準備しておりますので、お気軽にお立ち寄りください。



どの製品も施設一押しの自慢の商品。販売にも力が入ります。

月で1周年を迎えます。
イオン伊都店の貴島マネージャーは、「まごころ良品市も1周年を迎え、応援してくださるお客様も増えて参りました。イオン全店舗では、障害者のみなさんが心を込めてつくられた製品の販売拡大に努めています。宮崎県のイオンでは、障害者施

設の製品を販売するイベントで年間1,000万円の売上実績があります。この市場が、本店の名物市場になるように今後も積極的に協力していきます。」と話してくださいました。

【問合せ先】総務部 広報室
TEL092 (584) 3377

今津福祉村結成40周年記念式典

地域住民と福祉施設が連携

地域おこしに取り組んで40年

福岡市西区今津校区の地域コミュニティ組織「今津福祉村」の結成

40周年記念式典が、福岡市立今津小学校体育館で開催され、地域住民等約250人が参加しました。

今津福祉村は、地域住民と8か所の福祉施設が連携して地域おこしに取り組んで昭和45年に結成されたものです。

式典で、入江種文村長は「40年の歩みの中には厳しいこともありましたが、これからも幅広い世代と交流を深め、絆を深めていきたいです。」



関西学院大学
牧里毎治教授



入江種文今津
福祉村村長



今津福祉村の運営に貢献した4人に、
入江村長から感謝状を贈呈しました。

と今後の抱負も含めて熱く語られました。
その後、式典では、麻生渡福岡県知事の代理として、福岡県福祉労働部服部部長が祝辞を述べられ、運営に貢献した4人に感謝状が贈呈されました。
式典後は、関西学院大学の牧里毎治教授による記念講演が行われ、住民が主体となって地域福祉活動を行っている関西の事例を紹介し、今津福祉村に熱い励ましのエールを贈られました。

【問合せ先】総務部 広報室
TEL092 (584) 3377

もらってうれしい。描いて楽しい。 絵手紙サークル「ひなたぼっこ」

絵手紙サークル「ひなたぼっこ」は、代表の西村瑞枝さん（春日市）が、平成8年に「絵手紙で人を元気にしたい」との思いから設立し、公民館や福祉施設、小学校など、県内約20カ所で教室を開かれました。

現在300名以上の会員が春日市や福岡市を中心に活動しています。



昨年のねんりんスポーツ・文化祭で絵手紙を教える西村さん

絵手紙の題材は、花や果物、季節の風物など多種多様で、出来上がった作品は、家族や友人のほか、子ども

も病院、福祉施設などへ贈っています。

絵手紙の魅力

代表の西村さんは、「絵手紙は絵の具がなくても、コーヒーや身の周りの物で描けます。描いて楽しい、出して楽しい、もらってうれしいのが絵手紙です。見た人がみんな笑顔になれるのが魅力でしょうね。」と笑顔で話されます。



会員さんには「絵手紙で孫とのやりとりをするのが、私の生きがいとなっています」と笑顔で話される方もいました。

みんなと一緒に楽しむ

「ひなたぼっこ」は、来年3月に春日市の春日ふれあい文化センターで「大絵手紙展」を開催予定です。また、同時にこれまでの活動のあゆみをまとめた作品集も発行されます。

また、11月13日・14日に春日市のクロバープラザで開催する「第10回福岡県ねんりんスポーツ・文化祭」では、絵手紙体験コーナーを設置し、来場者が記念の一枚を作成できるように丁寧に教えていただきます。

ご家族、お友達などお誘いの上、絵手紙をつくる楽しさ、送る喜びを味わってみてください。

高齢者サークルに関する問合せ先
（サークル取材も承ります）

福岡県社会福祉協議会

地域福祉部 生きがいづくり課

TEL 092（584）1401

全日本葬祭業協同組合及び福岡県葬祭業協同組合様からの寄付 地域の福祉に役立てたい

福岡県社協は、全日本葬祭業協同組合及び福岡県葬祭業協同組合様から20万円のご寄付をいただきました。

10月13日に福岡市のグランド・ハイアット・福岡で行われた全日本葬祭業協同組合福岡大会において、全日本葬祭業協同組合連合会 松井昭憲会長から、福岡県社協 隈本英臣常務理事に目録が贈呈され、本会から感謝状を贈りました。ご寄付いただいた貴重な浄財は、子育て情報誌の発行や子育てサロン活動の充実等、子育て支援事業の費用として活用させていただきます。



福岡県社協隈本常務理事から全日本葬祭業協同組合連合会松井会長に感謝状を贈呈。

歳末たすけあい運動にご協力をお願いします。

運動期間 12月1日～31日

福岡県共同募金会では、12月1日から1ヵ月間、赤い羽根共同募金運動の一環として、歳末たすけあい運動を実施します。

この運動は、新たな年を迎える時期に、支援を必要とする人たちが、地域で安心して暮らすことができるよう、住民の参加や理解を得て、様々な福祉活動を重点的に展開するものです。



寄せられた寄付金品は、高齢者の元気づくりのためのふれあい・いきいきサロン活動、高齢者世帯に対する見守り・ひと声訪問活動、育児相談・親子のふれあいの場である子育てサロン活動、学童生徒が高齢者に年賀状を送る活動、クリスマス会などを通じた障害者共同作業所と地域の方々とのふれあい交流事業等、身近な地域の福祉活動に活用されます。

皆さまのあたたかいご協力をお願いします！

今年目標額 131,879,160円
(内訳) 県 域 111,879,160円
地 域 20,000,000円

【問合せ先】
福岡県共同募金会
TEL 092 (584) 3388

中外製薬のワゴン車寄贈

地域福祉向上に貢献

中外製薬（本社・東京）は、社会福祉法人ひじり会（久留米市田主丸町）に高齢者の送迎用ワゴン車1台を寄贈されました。

10月21日に行われた贈呈式で、中外製薬井本弘嗣・福岡支店統轄支店長が「地域福祉のお役に立つよう願っております。」とあいさつをされると、ひじり園の鬼塚香津子施設長は、「立派な車をいただき、利用者や家族にも喜んでいただけたと思います。」と感謝の言葉を述べられました。



中外製薬 井本弘嗣・福岡支店統轄支店長（左）、
ひじり園 鬼塚香津子施設長（右）

お知らせ 掲示板

* 11月からの行事予定について紹介します。

お知らせします

11月は児童虐待防止推進月間で

す

虐待から子どもたちを守るためには、地域の皆さんの気付きが大切です。

日頃から子どもたちに関心を持ち「児童虐待では？」と感ずることが

あったら、左記の相談機関へご連絡ください。

また、相談機関の連絡先が分からない場合は、児童相談所全国共通ダイヤル0570(064)000へおかけください。お住まいの地域の児童相談所に電話をおつなぎします。

県内児童相談所連絡先

- (1) 福岡児童相談所
092(586)0023
- (2) 久留米児童相談所
0942(32)4458
- (3) 田川児童相談所
0947(42)0499
- (4) 大牟田児童相談所
0944(54)2344
- (5) 宗像児童相談所
0940(37)3255
- (6) 京築児童相談所
0979(84)0407
- (7) 福岡市子ども総合相談センター
092(832)7100
- (8) 北九州市子ども総合センター
093(881)4556

行ってみませんか

平成22年度社会福祉振興助成事業
事業報告会(旧長寿・子育て・障害者基金事業)

開催趣旨

社会福祉振興助成事業は、民間団

体の創意工夫を活かした高齢者や障害者の在宅福祉、生きがい・健康づくり、子育て支援、障害者スポーツ等の推進を図っています。

本報告会は、過去に本助成金を受けて実施した団体が、取り組みの成果や活動のノウハウ等を報告し、社会福祉振興助成事業について情報提供する場として開催します。

日時

平成22年11月29日(月)

13時から16時30分

会場

福岡県中小企業振興センター

301号室

講演

「助成金の活かし方」

地域社会で求められる役割と課題

講師

特定非営利活動法人

ふくおかNPOセンター

理事長 古賀 桃子 氏

実践報告

福岡県芦屋町子育てボランティア

ハートフル

福岡県大木町みずの会

定員

80名(要申し込み)

申込先

地域福祉部 地域課

TEL092(584)3377

主催

独立行政法人 福祉医療機構

協力

福岡県社会福祉協議会



社会福祉施設
総合損害補償

しせつの損害補償

迅速で丁寧、かつ適正なお支払い!!

ホームページでも内容を紹介しています。
<http://www.fukushihoken.co.jp>



プラン1 施設業務のための補償

(賠償責任保険、傷害保険、動産総合保険)

▶ 補償金額

	基本補償(A)	見舞費用付補償(B)
対人賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円
対物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円
受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円
うち現金補償限度額(期間中)	20万円	20万円
人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円
身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円
初期対応費用(期間中)	500万円	500万円
事故初期見舞費用(1名につき)	死亡 10万円 入院時 3万円 通院時 1万円 (通算で10万円限度)	死亡 10万円 入院時 3万円 通院時 1万円 (通算で10万円限度)
利用者傷害死亡事故弔慰金		死亡(重度後遺障害) 100万円(78~100万円)
利用者傷害事故見舞費用		死亡時 100万円 入院時 1.5~7万円 通院時 1~3.5万円

▶ 年額保険金(掛金)

● 基本補償(A) 保険期間1年職種別A級

定員	基本補償(A)
1~50名	33,000~59,400円
51~100名	66,000~94,200円
101~150名	96,000~103,200円
151~200名	104,700~110,700円
以降1名~10名増ごと	1,500円

● 見舞費用付補償(B)

基本補償(A) 保険料	+	【見舞費用加算】 定員1名あたり 入所: 1,400円 通所: 1,500円
----------------	---	---

● オプション1 ● 訪問・相談等サービス補償 ● オプション2 ● 施設の医療事故補償

② 個人情報漏えい対応補償

施設の利用者の個人情報が万一漏えいし、法人に法律上の賠償責任が発生した場合の損害賠償金等を補償

③ 施設の什器・備品損害補償

○ 施設内の什器・備品を幅広い範囲で補償
○ 施設の現金等も補償

プラン2 施設利用者のための補償 (傷害保険)

① 入所型施設利用者の傷害事故補償 ② 通所型施設利用者の傷害事故補償

▶ 補償金額

	1口あたりの補償額
死亡保険金	100万円
後遺障害保険金	死亡保険金額の3~100%
入院保険金(1日あたり)	800円
手術保険金	8,000円・16,000円・32,000円
通院保険金(1日あたり)	500円

▶ 年額保険料(掛金) 保険期間1年職種別A級

	定員1人1口あたり
入所型施設利用者	1,410円
通所型施設利用者	960円

③ 施設送迎車搭乗中の傷害事故補償

施設送迎車に搭乗中のケガに対し、2-①、②の傷害保険や自動車保険などとは関係なく補償

プラン3 施設職員のための補償 (労働災害総合保険、傷害保険、約定履行費用保険)

① 施設の労災上乗せ補償 ② 施設職員の傷害事故補償 ③ 施設職員の感染症罹患事故補償

● このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容のお問合せは下記をお願いします

団体 社会福祉法人
契約者 全国社会福祉協議会

取扱 株式会社 福祉保険サービス
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763

〈引受幹事保険会社〉株式会社 損害保険ジャパン 〈SJ09-08936, 2010/02/19〉

● この保険は全国社会福祉協議会が保険会社と一括して契約を行う団体契約(「賠償責任保険」「傷害保険」「労働災害総合保険」「約定履行費用保険」「動産総合保険」)です。

第10回

福岡県

ねんりん

スポーツ・文化祭

とき: 11月13日(土)・14日(日)

会場: クローバープラザ (JR春日駅前)



い
つ
ま
で
も
輝
い
て
い
たい。



11月13日(土) 開催のイベント

総合開会式 12:50~13:50

オープニングアトラクション

児童養護施設 白梅学園吹奏楽団

記念講演

14:00~15:00

講師 野球解説者

衣笠 祥雄さん

演題「限りなき挑戦」

ねんりんファッションショー

15:15~16:15(クローバーホール)



鉄人衣笠に会える!

11月14日(日) 開催のイベント

民謡コンクール

12:30~16:00

(クローバーホール)

心揺さぶられる日本の
故郷の歌をお聞きください!

11月15日(月) 開催のイベント

合唱フェスティバル

13:00~15:00 大野城まどかピア(大野城市)



P8・9 もご覧ください。

主催

福岡県、福岡県ねんりんスポーツ・文化祭実行委員会



この広報紙は、一部共同募金の配分金を受けて発行しています。